

## 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	寒川町			代表者名	木村 俊雄
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	デジタル推進課	連絡先電話番号	0467-74-1111
担当者役職	主査	担当者氏名	山本 寛士	連絡先E-mail	
住所	253-0196 神奈川県寒川町165番地				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

#### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(単独)	事業名	デジタル人材育成事業
概要	管理職級及び係長級へのDXに関する意識向上及び機運醸成に関する研修		
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成)		

### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年10月9日	講演(実地)	9時00分	12時00分	
				活動時間(分)	180
2-2. 派遣場所	会場名	寒川町役場		最寄駅	寒川駅
	所在地	神奈川県高座郡寒川町宮山165番地		最寄駅からの交通手段	徒歩

### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	職員の階級に合わせた、分かりやすい言葉でDXとは何かを講話いただき、好評だった。職員が想像しやすい具体的な事例や当町の総合計画とも絡めた例を交え、また行政経験者であるため、行政側の事情や立場を理解した実りのある内容だった。
アドバイザーへの要望事項	またご縁がありましたら、アドバイザーをお願いしたいです。

### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】		合計人数	49人
	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
人数	49	0	0	0

#### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実際に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	全庁的なDXを進めるために、所属の部長級、課長級職員の理解が不可欠であり、管理職職員の意識向上と機運醸成が課題である。全庁的なDX推進への理解や必要性の浸透が図られておらず、取り組む必要があるのか、検討はどうすればよいか、職員間の意識に差異がある。DXに関して理解の共通化が図られておらず、DXに関してはデジタル部門の業務という認識であり、また日々の業務に追われ、各課等の所管業務に関するところで課題解決や業務改革が進まない課題がある。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	管理職及び係長級へのDXの基本的な知識、なぜDXが必要なのか、DXの重要性を説明していただき、DXはデジタル部門ではなく、自分ごと(所属課)として全庁的及び積極的に関わっていく意識へ改善。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>DXの必要性和理解</li> <li>DXが進む考え方</li> <li>町総合計画から見たDXの観点</li> </ul>
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	部長級や課長級等管理職へのDXについての必要性や理解といった認識の統一。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 部長級や課長級等管理職に対するDXの必要性や理解の浸透。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	係長級に対するDXの必要性や理解の浸透、職員間の意識の差。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度、理解度、危機感の変化、今後の業務への活用についてアンケートを実施。次のとおりの結果となり、満足度及び理解度が非常に高く、意識醸成がされた。また今後の活用にも期待ができる。 ・満足度 高い：43% やや高い：57% やや低い及び低い：0 ・理解度 とても理解できた：29% 理解できた：71% あまり理解できない及び理解できない：0 ・危機感の変化 元々危機感があった：39% 受講し危機感を持った：61% 危機感はない：0 ・今後の業務への活用 とてもいさせる：14% いさせる：79% あまりいさせない：2% いさせない：0
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ③現段階では課題・問題が残っているため未定 3回目にて係長級への課題解決に向けた研修を実施。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	職員間でDXに関して理解の共通化を図り、さらに職員一人ひとりが業務において積極的に課題解決や業務改革に取り組み、行政サービスや住民の利便性向上の実現を目指す。

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

[https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past\\_year\\_all\\_houkoku/](https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/)

掲載許可

掲載可

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

